

科目名	ヴォーカルⅣ						年度	2025	
英語科目名	Vocal Ⅳ						学期	後期	
学科・学年	声優・演劇科 2年次	必/選	選	時間数	40	単位数	1	種別※	実技
担当教員	塩原千恵	教員の実務経験		有	実務経験の職種		俳優		

【科目の目的】

ヴォーカルⅢに引き続き、始めに歌唱に必要なウォーミングアップを行い、その後スコアを基に読譜し、様々なスタイルの歌唱を行う。歌いやすい曲で基礎力を養い、ミュージカルナンバーやコーラス曲、日本のポップスなど色々なジャンルの歌唱スタイルを学んでいく。課題曲に応じてソロ歌唱、グループ歌唱を適宜取り入れる。人前での自己表現・自己アピールを習慣化し、表現力を養い、観客に伝える力を身につけていく。

【科目の概要】

様々な種のヴォーカルに取り組み、歌の世界観を理解し、歌唱力と表現力を高めることを目標とし、成果を発表する。

【到達目標】

ヴォーカルⅢに引き続き、多ジャンルの課題曲に触れ歌唱力を養うこと、基礎的な読譜力を養い音楽用語の知識を身につけ実践で活かせるようにすること、表現力を向上させ、人前での歌唱、実践（オーディション・ライブ・レコーディング等）で力が発揮できるようにすること。

【授業の注意点】

ウォーミングアップ、歌唱練習に支障のない動きやすい服装で授業に臨むこと。授業中の私語や受講態度等には厳しく対応する。社会への移行、実践で活かすことに留意し、課題の予習復習と体調管理の継続性を意識した態度で参加することを求める。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することはできない。

評価基準＝ルーブリック

ルーブリック 評価	レベル5 優れている		レベル4 よい		レベル3 ふつう
到達目標 A	相手の目を見て挨拶することができる		挨拶することができる		挨拶することが全くできない
到達目標 B	課題内容を理解し演じる（歌う）ことができる		課題を演じる（歌う）ことができる		課題を演じる（歌う）ことができない
到達目標 C	遅刻・欠席をしない		遅刻・欠席が少ない		遅刻・欠席が多い

【教科書】

必要に応じて楽譜・資料を配布する。パソコン・タブレット・スマートフォンなどのモバイルツール、参考資料等は授業内で指示する。

【参考資料】

【成績の評価方法・評価基準】

小テストおよび期末テストにより採点。授業への積極性と参加態度を評価する。

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

科目名		ヴォーカルIV			年度	2025
英語表記		Vocal IV			学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標=修得するスキル	評価方法	自己評価
1	様々な歌唱スタイル1	バラード	1 ソロパート	自信を持つこと	2	
			2 暗譜	音感を持ち表現する		
			3 MV鑑賞	最新のスタイルを身に付ける		
2	様々な歌唱スタイル2		1 ソロパート	自信を持つこと		
			2 暗譜	音感を持ち表現する		
			3 MV鑑賞	最新のスタイルを身に付ける		
3	様々な歌唱スタイル3		1 ソロパート	自信を持つこと		
			2 暗譜	音感を持ち表現する		
			3 MV鑑賞	最新のスタイルを身に付ける		
4	ハーモニーの応用トレーニング1	J-POP	1 ソロパート	自信を持つこと		
			2 暗譜	音感を持ち表現する		
			3 MV鑑賞	最新のスタイルを身に付ける		
5	ハーモニーの応用トレーニング2		1 ソロパート	自信を持つこと		
			2 暗譜	音感を持ち表現する		
			3 MV鑑賞	最新のスタイルを身に付ける		
6	ミュージカルナンバーを歌う1	レミゼラブル	1 読譜力	歌唱力を養う		
			2 音感力	ハーモニーを強化する		
			3 表現力	パフォーマンス能力を身に付ける		
7	ミュージカルナンバーを歌う2		1 読譜力	歌唱力を養う		
			2 音感力	ハーモニーを強化する		
			3 表現力	パフォーマンス能力を身に付ける		
8	オーディション対策トレーニング1	オンライン対策	1 モバイルツール	必要なスキルを習得する		
			2 動画	実践の場で活用する		
9	オーディション対策トレーニング2		1 モバイルツール	必要なスキルを習得する		
			2 動画	実践の場で活用する		
10	授業内発表	一年のまとめ	1 発表	個性を活かした表現をする		
評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他						
自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった						
備考 等						